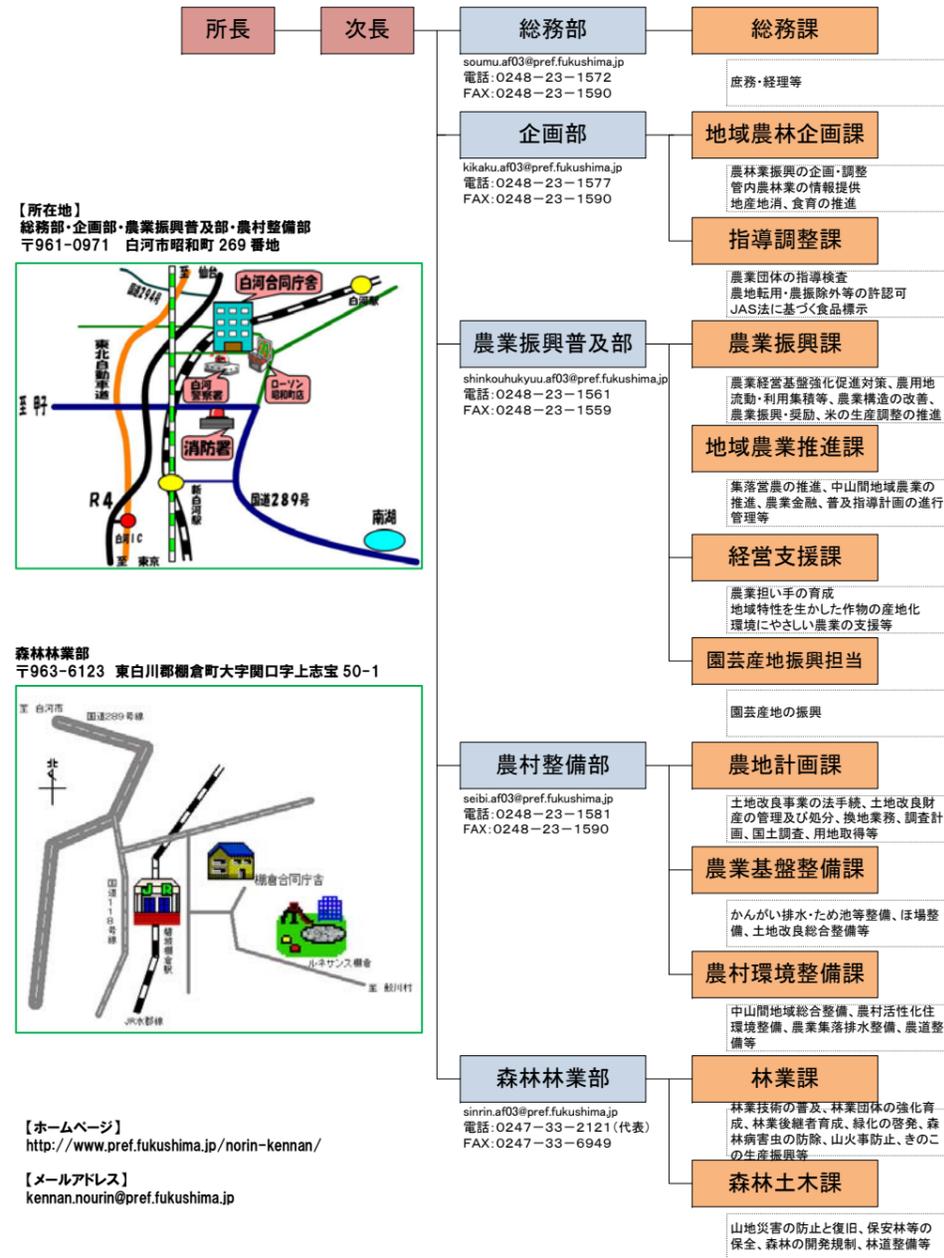


県南地方の農林業

つくろう 住み良い農山村 活かそう農林業の力

県南農林事務所組織体制図



- 【表紙写真】**
- 八瀧山観望登山 矢祭町内川小学校
 - 農道整備 広域営農団地農道整備事業 矢祭町(東白川12期地区)
 - 田んぼの学校 埴町(埴小)
 - ブロンローの栽培 中島村
 - 強滝 鮫川村
 - いちごの栽培状況 ふくはるか 棚倉町
 - 戸津辺の桜 緑の文化財 矢祭町
 - カーネーション栽培 矢祭町生産農家
 - 林道整備 ふるさと林道緊急整備事業 鮫川村(鍛木田一本木線)

福島県県南農林事務所

平成20年4月

I 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする 1 市 4 町 4 村からなり、その面積は 1,233.24km²(西白河地方 612.30km² 東白川地方 620.94km²)で、県土の 8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。

(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は 356.63m に位置しています。

(3) 人口

管内の人口は、平成 19 年 10 月 1 日現在、152,517 人(49,875 世帯)で、県人口の 7.4% (世帯数で 6.9%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が 76.1% (同 77.7%)、東白川地方が 23.9% (同 22.3%)を占めています。



II 農業・農村・森林林業

(1) 就業者構造

管内の就業者総数(15 歳以上)は 76,321 人で、産業別の内訳は、第 1 次産業が 11.3%、第 2 次産業が 39.0%、第 3 次産業が 49.3%をそれぞれ占めています。

管内の第 1 次産業就業者の内訳を見ると、農業が 96.4%、林業が 3.5%、漁業が 0.1%を占めています。(H17 国勢調査)

(2) 農家数・林家数

管内の総農家数は 10,219 戸で県全体の 9.8%を占め、内訳を見ると、販売農家が 83.5% (8,532 戸)、自給的農家が 16.5% (1,687 戸)となっています。また、管内の林家数は、4,473 戸で、県全体の 10.6%を占めています。(2005 年農林業センサス)

(3) 耕地面積・森林面積

管内の平成 18 年度の耕地面積は 18,062ha(田 12,294ha、畑 5,768ha)で、県全体の 11.8%(田 11.5%、畑 12.6%)を占めています。(第 54 次福島農林水産統計年報)

また、管内の平成 18 年度の国有林・民有林の面積は、国有林が 32,283 ha、民有林が 49,484 ha で、県全体に占める割合は、それぞれ 7.9%、8.8%となっています。(H19 福島県森林・林業統計書)

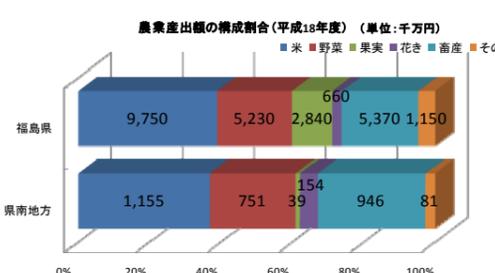
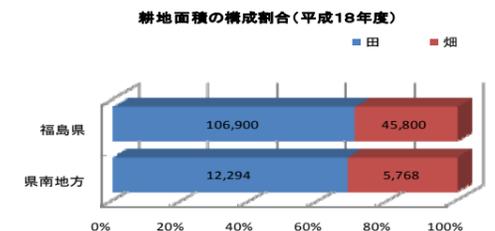
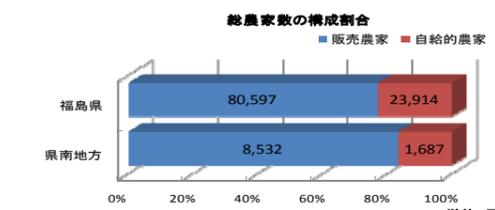
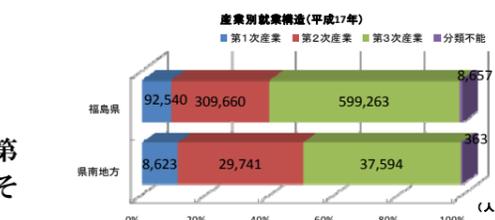
(4) 農業産出額

管内の平成 18 年度の農業産出額は 312 億 6 千万円で、県全体の 12.5%を占めています。

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で 115 億 5 千万円で 36.9%、次いで畜産の 94 億 6 千万円で 30.3%、野菜の 75 億 1 千万円で 24.0%、花きの 15 億 4 千万円で 4.9%の順となっています。

管内の農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成 15 年までは増加で推移し、平成 16、17 年には減少したものの、平成 18 年には再び増加に転じ、前年より 3 億 4 千万円(1.1%)増加しております。

また、農家 1 戸当たり所得の順位は、中島村(3 位)、矢吹町(4 位)、泉崎村(5 位)となっています。



(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどです。

平成 18 年度の管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの作付面積は、米が 10,110ha、トマトが 124 ha、レタスが 75 ha、ブロッコリーが 191ha、しゅんぎくが 32 ha となっており、県全体に占める割合で見ると、米 12.2%、トマト 23.8%、レタス 47.8%、ブロッコリー29.8%、しゅんぎく 26.2%となっています。

平成 18 年度の管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの収穫量は、米が 52,240t、トマトが 8,854t、レタスが 1,637t、ブロッコリーが 2,481t、しゅんぎくが 330t となっており、県全体に占める割合で見ると、米 12.0%、トマト 29.0%、レタス 62.0%、ブロッコリー41.4%、しゅんぎく 23.6%となっています。また、トマト及びレタスの収穫量は白河市が県内で 1 位の収穫量で、ブロッコリー及びしゅんぎくの収穫量は、中島村がそれぞれ県内で 2 位、3 位の収穫量となっています。

平成 19 年度の管内の乳用牛、肉用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が 4,360 頭、肉用牛が 10,810 頭、豚が 45,750 頭となっており、県全体に占める割合で見ると乳用牛 21.1 %、肉用牛 12.9 %、豚 22.2 %となっています。また、乳用牛の飼養頭数は西郷村が県内で 2 位の飼養頭数で、豚の飼養頭数は鮫川村が県内で 1 位の飼養頭数となっています。

管内の平成 17 年の素材生産量は 114 千m³であり、県全体に占める割合は 17.4%となっています。

平成 18 年の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が 206t、生しいたけが 855t となっており、木炭は鮫川村が県内で 2 位の生産量で、生しいたけは白河市が県内で 1 位の生産量となっています。

(第 54 次福島農林水産統計年報、H19 年福島県森林・林業統計書)

(6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、平成 19 年の田、畑を合わせた整備率は 55.6% (水田の整備率 66.0%、畑の整備率 33.1%)となっており、県平均の 58.6%(水田の整備率 68.1%、畑の整備率 36.6%)を若干下回っています。

(「福島県のほ場整備率」：福島県農業基盤整備課)

(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組んでおり、平成 18 年度の公共下水等を含めた污水处理施設等の普及率は 75.5%(うち、農集排 25.2%)となっており、県平均の 67.2%(うち、農集排 6.3%)を上回っています。

(「県内の農業集落排水事業の整備状況」：福島県農村環境整備課)

(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成 18 年度末の林道延長は 383,315m で、林道密度は 7.75m/ha となっており、県平均の林道密度 7.17m/ha を上回っています。なかでも、東白川郡については 10.84m/ha と県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、管内における平成 18 年度末の保安林指定面積は 4,111ha で、昭和 55 年度末の保安林指定面積(2,286ha)の 180%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

(H19 年福島県森林・林業統計書)

(第 54 次福島農林水産統計年報)

